

令和2年6月1日

川西市立小中学校・特別支援学校 保護者 様

川西市教育長

学校の通常運営に向けてのお願い

入梅の候、保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う国の緊急事態宣言を受け、川西市として実施した今年度5月までの市立小・中学校並びに特別支援学校の臨時休業に関し、さまざまな形でご協力いただきましたことについて御礼を申し上げます。

5月21日に兵庫県の緊急事態宣言が解除されたことに伴い、本市教育委員会並びに各学校におきましては通常運営に向けて、今、準備を進めているところです。つきましては、学校再開にあたり下記の事項にご留意・ご協力をお願いしながら、円滑な学校運営にご協力いただければと考えております。

1. 児童生徒の健康管理について、引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。

(1) 学校での教育活動は基本的に集団生活が基盤となるものです。したがって、教職員も個々の児童生徒の健康管理には十分注意していきますが、まずはご家庭でのお子様の健康管理についてご協力をお願いいたします。

(2) お子様に新型コロナウイルス感染の可能性がある場合や感染が判明した場合は、その旨を学校に速やかにご連絡いただき、その後の対応についてご相談いただきますよう、お願いいたします。なお、ご家族などお子様との濃厚接触が予想される感染者が判明した場合も、その旨をご連絡いただき、ご相談いただきますようお願いいたします。

2. 学校での感染拡大防止の取り組みについて、ご理解とご支援をお願いいたします。

(1) 学校の通常運営に向けて市教育委員会としては5つの段階を設定しています。これには新型コロナウイルス感染拡大に対する不安解消と感染拡大防止のために、学校・家庭・地域が連携してどのような取り組みを進めていくのかを、段階的に検証しながら進めていく意図があります。

また、児童生徒の学校生活に対する不安や生活リズムの安定等の課題にも、より丁寧に取り組んでいく必要があると考えています。通常運営までの期間、ご家庭でも引き続きお子様の様子を丁寧に見ていただきますよう、お願いいたします。

(2) 前述したとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みについては段階的に取り組んでいきますが、持続可能な「学校の新しい生活様式」を確立していくため、学校現場の取り組みについては試行錯誤を余儀なくされる場面も多いと考えられます。児童生徒や保護者・地域の方々と共に、知恵を出し合いながらその様式を創り上げていくという理念の

下、ご協力をお願いいたします。

また、学校によって児童生徒の状況や学校規模等が違うことから、個々の学校の取り組みが独自となるものもあることについて、その趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

(3) 基本的には学校での教育活動は集団生活を基盤としたものであり、児童生徒は周囲の人とのコミュニケーションによって成長していくものと考えています。したがって、感染拡大防止のために最善の取り組みを行なっていきたいと考えていますが、生活・学習面の全てにおいて対応することは難しい状況にあると認識しています。

基本的には手洗いなどの手指消毒の徹底や校内の定期的な消毒作業、三密の回避を徹底することが最重要であると考えています。特に、三密の回避については、三つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）が重なる部分をできるだけ少なくする取り組みが中心となりますので、その旨をご理解いただきますようお願いいたします。

(4) 学校は様々な特性や生活背景等を持った児童生徒がともに学び合う場所です。もちろん、感染拡大防止について基本的な取り組みは大切に、その定着を図っていく必要はありますが、多様な児童生徒の状況を十分理解いただき、画一的な取り組みが難しい状況もあることについてご理解いただきますようお願いいたします。

3. 児童生徒の学ぶ権利を保障する取り組みにご理解とご協力をお願いします。

(1) 新型コロナウイルスの感染拡大防止を最優先に、緊急事態宣言が出され、それに伴い学校休業等の措置を図ってきました。今後、第2波の感染拡大も予想されています。そうした状況の中で、新型コロナウイルス感染拡大防止を優先しつつも、できるだけ児童生徒の学ぶ権利にも配慮していきたいと考えています。

今回の臨時休業においては、お子様の学習面について不安を感じている保護者の方が多いというアンケート結果が出ています。教育委員会としては、教育課程の柔軟な編成や教育環境の整備などを通して学校現場と連携しながら、お子様の学びをできる限り支援していく所存です。ただ、現状においては変更または中止を余儀なくされる学校行事等があることについて、ご了解いただきますようお願いいたします。

なお、学校を媒介とした感染拡大が予測される場合は、当該学校の臨時休業等速やかにその対応を図っていきます。一方、市内学校一律の学校休業につきましては、市内の感染状況等を踏まえながら総合的に判断していきたいと考えています。

(2) 新型コロナウイルス感染を恐れるあまり、誤った情報の流布や感染に対する偏見等に陥らないなど、子どもたちの人権を守るために、私たちおとなが責任ある行動と協力を心がけていく必要があります。今後の新型コロナウイルスの対応において、周囲の人たちのそれぞれの状況に思いを巡らせ、子どもたちを含む私たち一人一人のつながりを大切にしていけることができれば、と考えています。私たちが子どもたちのモデルとしてその理念を示すことができますよう、これからもご協力をお願いいたします。